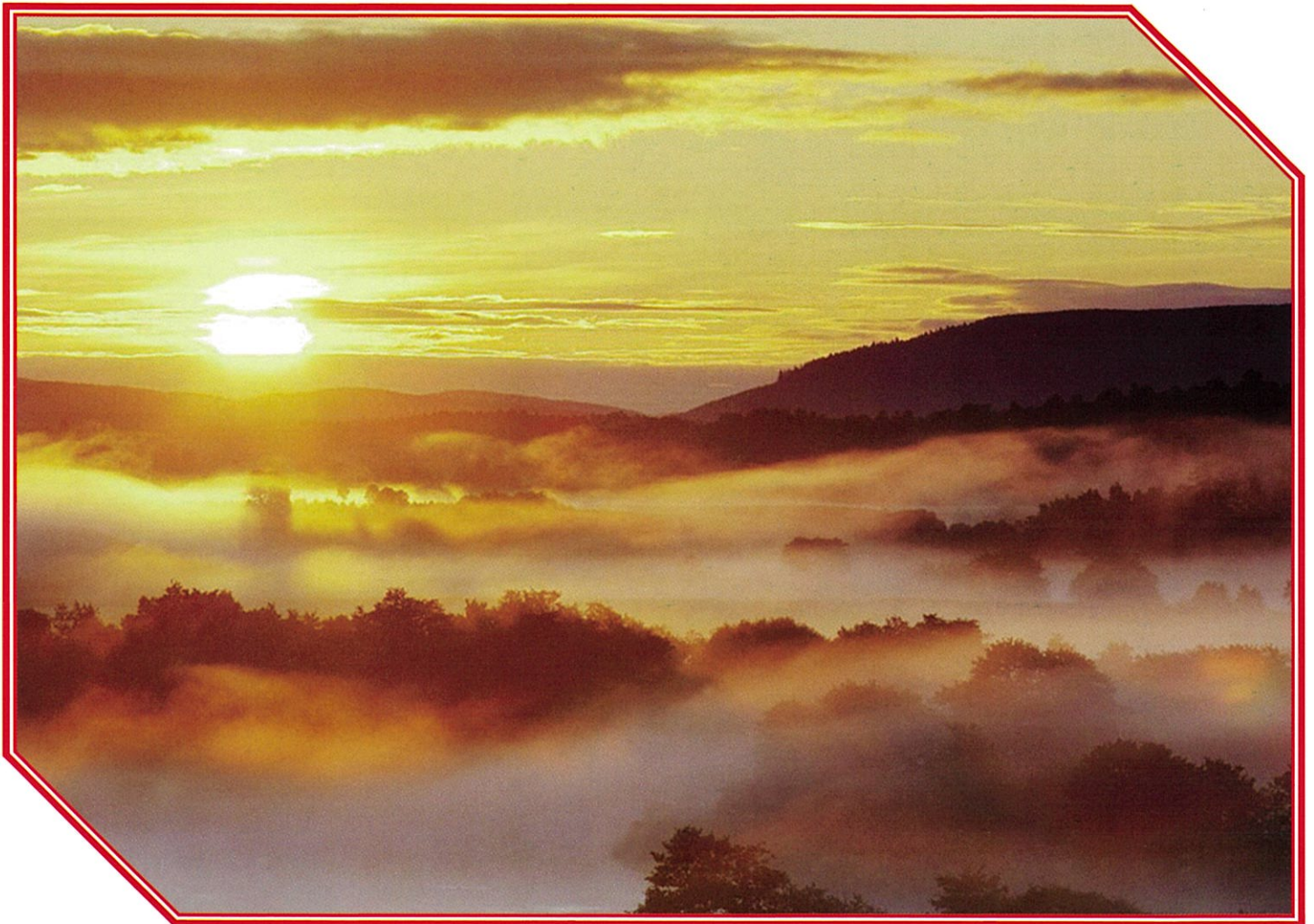


会報



再処理企業協議会

さいくる



2017年1月 第7号

2017年（平成29年）1月1日発行

発行：再処理企業協議会

発行責任者：事務局長 北上孝寿

〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字

弥栄平1-5 再処理企業センター

TEL (0175) 71-2487

FAX (0175) 71-2488

URL <https://www.saisyori-kigyokyogikai.jp/>



会長挨拶



新年のご挨拶

再処理企業協議会会長
株式会社東芝
六ヶ所再処理建設所

所長 吉本 篤史

再処理企業協議会の皆さま、明けましておめでとうございます。

健やかな新年をご家族一同でお迎えのこととお慶び申し上げます。お蔭様で本協議会も昨年11月で4年目を迎えることができました。本協議会は発足時の「高い品質確保・技術力向上及び会員相互のコミュニケーション推進による円滑な活動」の二大理念に基づき、世界に誇る再処理工場の建設・竣工・保全に向けて積極的に活動頂き、改めて感謝を申し上げます。

本協議会の事業活動について、毎年皆さんにアンケートを取らせて頂いていますが、本協議会の事業活動内容・方向性について皆さんから熱い期待が寄せられている事を実感すると共に改善すべきところは改善し、伸ばすべきところは更に発展させて皆さんの期待に応えられるよう事業活動をリードしていきたいと思えます。

さて、一昨年の原発再稼働元年以降、現時点でNRAの新規制基準適合性審査を合格した5発電所10基のうち、現在再稼働まで至ったのは5基(うち2基は仮処分停止中)という厳しい状況が続いています。本再処理工場の竣工時期は2018年上期に設定され、現在安全審査は終盤に差し掛かり、これから設工認申請・合格取得と最終コーナーを回ると、いよいよ新規制基準対応工事が本格化します。これから我々協力会社が如何にゼロ災で工事を完工できるかが勝負の年となります。一人でも犠牲者を出してはいけません。

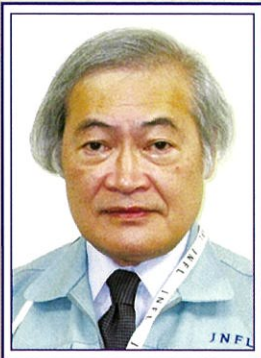
今年は2H者(初めて・久しぶり)の方が必然的に多くなることが想定されるため、本協議会では再処理工場の仕事に密着した教育は勿論の事、「A・K・Bプログラム(安全管理・健康管理・防災意識の向上)」の確立・推進を重点課題として取り組んで行きたいと思えます。

安全(A)には、「労働安全、原子力安全、社会安全、家内安全」等々があり、色々な場面で安全/不安全と対峙しています。また、健康(K)には「身体的、精神的」な両面があり、どちらが欠けても本来の生活・仕事はできません。安全も健康も品質と同じで安定した状態が無いものであって、放っておくとどんどん劣化して行きます。本人或いは組織が意図的に自然災害を含めた防災意識向上対策(B)を実施しているから保たれるもので、そのためには教育(人間は知らない事はできない)や意識改革(自分達だけでは気付けない)が必要であり、本協議会を大いに活用できるようにしていきたいと思えます。そのためにはコミュニケーションが不可欠であり、作業服の色が異なる会員皆さんが風通し良く、一丸となって原燃殿をサポートして行ける環境作りをしていきたいと思えます。

今年は酉年に当たります。ゴルフ愛好家の皆さんには頭の痛い言葉ですが、本来は「酉年の酉は「果実が極限まで熟した状態」を示し、「トリ」という音から「運氣や有効な情報を取り入れて自分にとって実りある1年にする」という意味があります。正に再処理工場の竣工に向け、実りある年になるよう活性化した組織にしていきたいと思えますので引き続き御協力のほどお願い致します。

ご安全に！！

再処理事業部長挨拶



新年のご挨拶

日本原燃株式会社

再処理事業部長 村上 秀明

再処理企業協議会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

ご家族共々爽やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

再処理企業協議会の会員の皆さまには、日頃から私どもの再処理事業において、常に現場第一線での各種業務を担っていただいていることに、心より感謝申し上げます。また、この年末年始に昼夜問わず工場の様々な業務に携われた方々におかれましても、大変お疲れ様でした。この再処理事業は、皆さま一人一人が力を合わせるにより成り立っていることに改めて感謝申し上げます。

さて、2017年は、2018年度上期に計画している再処理工場のしゅん工に向けて、大変重要な節目の年にあたります。再処理施設における新規制基準の安全審査については、原子力規制委員会における審査が着実に進められ、大詰め段階まで進めることができました。そして、設工認、本格的な工事へと次のステージに向かっていく状況です。

そのような中、昨年12月に安全第一を支える当社品質保証活動に重要な問題が発生し、まさに、会社の安全第一に対する姿勢が厳しく問われており、地域の皆さまをはじめ、多くの協力企業の皆さまにご心配をおかけし、申し訳なく思っております。本件は、社員一人一人がしっかりと重く受けとめ、会社をあげてその対策に取り組んでまいり所存です。

再処理企業協議会の会員の皆さまにおかれましては、技術の研鑽はもとより会員同士のコミュニケーションに力を入れていただいております。再処理企業協議会が会員企業の皆さまの間の接着剤となり、チーム一丸となって再処理事業に取り組む気運を培って頂いており、ありがたく感じております。

今年は、新規制基準対応における安全審査で約束した数多くの安全対策を再処理工場の設備に反映する工事が、最盛期を迎えることとなります。この工事は再処理工場の建設以降、最大規模の工事となります。無事故・無災害を最優先し、再処理企業協議会の会員の皆さまをはじめ多くの協力企業の皆さまにご協力いただきながら、限られた期間、限られたエリアで膨大な工事を円滑に成し遂げましょう。

この新規制基準対応が六ヶ所で新たな安全・安心を作り上げ、福島第一原子力発電所の事故への深刻な反省を心に刻み、もう一度、地域の皆さまに認めていただくという日本原燃の事業の存立をかけた極めて重要な取り組みであることを、私たちは改めて心に銘ずる必要があります。

2017年は十二支の「酉年」にあたります。辞書によれば「酉」という言葉は、もともとは酒に由来しており、収穫した作物から酒を抽出する意味や収穫できる状態を表すとのこと。そして、2017年の再処理施設はまさにしゅん工を目前にした収穫の時期を迎えようとしています。収穫したものを市場に提供する前に、当社は安全第一を支える品質保証活動の更なる改善に取り組んでまいります。

私達は心を一つにしてチーム一丸となって、この1年を無事故・無災害で乗り切ることで、明るく、楽しく、元気よく、そして安全第一に、再処理工場のしゅん工に向けて取り組んでいきたいと思います。

本年もよろしくお願いたします。

以上

再処理企業協議会設立4周年記念講演会



11月30日(水)再処理企業センター(X15)会議室において、再処理企業協議会設立4周年記念講演会が開催されました。

TEAMで育てる「安心の仕組み」という演題で、元全日本空輸客室乗務員の古永由紀子さんにご講演いただきました。

「ALL FOR YOU」の精神、安全の仕組みを支えるKEY WORDなど、大変ためになるお話から心温まるお話まで、とても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



YUKIKO YOSHINAGA

講演会



再処理企業協議会 四周年記念講演会



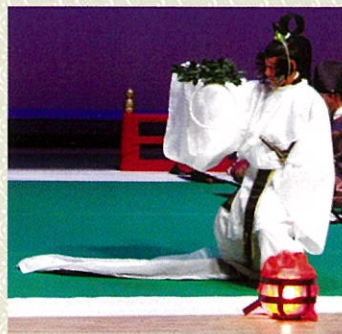
再処理企業



「ミステリアスな歴史・古代の六ヶ所村」(第五回)

六ヶ所村「尾駁の牧」歴史研究会会長 相内 知昭

当時の貴族たちが、この「まだら馬」に重きをおいていたことは、宮中祭儀における「神楽歌」の歌詞からも分かる。例えば、毎年十一月に、その年の新穀を天皇が神に捧げて、天皇自らも食する祭儀「新嘗祭(にいなめさい)」。「その祭儀の最後に「神上げ」の歌として歌われるのが「其駒(そのこま)」という曲である。その曲の歌詞にある「其の駒」とは、「鞆毛(灰色)」の駁毛の大きな白斑のある駒のことである。要するに、神様が、最後、天上へ乗って帰られる馬は、「まだらの馬」だったのである。藤原道長が、わが孫・敦成(あつひら)親王の摂政となった長和五年(一〇一六)十一月六日の日記に、「新嘗祭」を迎えるための神楽歌「其駒」の練習中に、その日の朝、陸奥国鎮守府將軍から献上された馬を引き出し、練習していた公卿たちに贈ったとの記事も見える。



「六ヶ所村歴史フォーラム2015」講師、山口博先生(富山大学・聖徳大学名誉教授)によれば、「斑馬は聖獣」だったとする思想は、ユーラシア大陸を西から東へ駆けぬけてきた思想であり、古くは、古代ギリシアにおいて「太陽神への斑馬は犠牲獣」「天空の太陽を牽くのが、地上で一番力のある斑模様の馬」とのそれが、その源であるとし、それがまた、シルクロードの国々を伝わり、東の果ての日本国の「古事記」「日本書紀」の世界にその根を下ろし、「天の岩戸」の神話となったと話された。しかし、その本来の解釈は、「スサノオ」は「乱暴者」という話などではなく、「斑馬を犠牲にして太陽神アマテラスへ捧げた」というのが、本来の話であり、また「斑馬」の解釈は、並ではない状態であるゆえに神聖視され、神や英雄の乗り物になったといふことを話されている。ゆえに、「後撰和歌集」の「尾駁の駒も野飼ふには…」との



①斑の天馬 ギリシア神話のオルフェウス



②斑の天馬の拡大図

歌の真意は、「神聖な尾駁の駒も野飼いなどすると、あばれ馬になるぞ」と歌ったものであり、「尾駁の駒も…」の「も」が非常に大切であり、「尾駁の駒は…」では無い!ということをよく理解されたいと話されていた。では、次回も、乞う、ご期待。

第4回再処理企業協議会ボウリング大会

10月29日（土）三沢ボウルで第4回再処理企業協議会ボウリング大会が開催されました。会員企業24社104名（26チーム）参加し、和気あいあいとした雰囲気の中、みなさんプレーされておりました。



団体戦

優勝
松田建設（㈱ジェイテック）

準優勝
チームSNK（新日本空調㈱）

第3位
昔とった杵柄三人（㈱青森クリエイト）
チームアトックス（㈱アトックス）
※同点により第3位は2チームでした

個人戦

優勝
若松寛仁 様（美和電機工業㈱）

準優勝
岡野 貢 様（㈱アトックス）

第3位
児玉和宏 様（新日本空調㈱）



団体、個人で優勝された方にコメントを頂きましたのでご紹介いたします。

団体優勝 松田建設（株）ジェイテック

田中 靖様
チームのスコアが良かったので、もしかしたら上位に食い込むかも？とは思っていましたが、優勝という結果に驚いております。約1年ぶりのボウリングでしたが楽しめました。

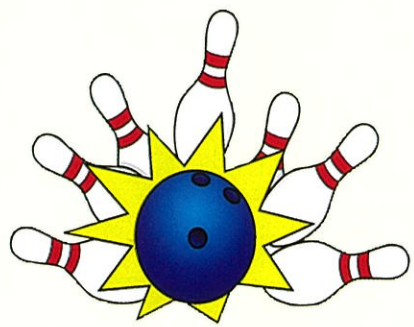
鷹架俊基様
今大会初参加で、何年もボウリングをしていなかったのが不安でしたが、自己ベスト更新、初優勝も経験でき、チームのみなさんに感謝です。

市川友博様
ボウリングはメンタルに左右されるスポーツですが、みんなで楽しみ盛り上げることで、見事プレッシャーに打勝ち、個人の入賞は無くとも、チームプレイによって奇跡の優勝に繋がったと思います。仕事でもチームプレイで成果に繋がりたいものです。

岩崎洋一様
第2回から3度目の参加でしたが、強豪ぞろいの中まさかのチーム優勝！参加メンバーみんなが盛り上げてくれたので気持ちよく投げる事が出来楽しかったです。

個人優勝 若松寛仁 様（美和電機工業㈱）

10月29日（土）第4回再処理企業協議会ボウリング大会が三沢ボウル（三沢市）で開催されました。今回は26チーム104名の方が参加！顔なじみのメンバーもおりますが、若い方々の参加も増え、パワフルな勢いのあるボウリング大会になったように感じます。是非、来年度はこの記事を読んだあなた！是非！参加してみたいかがででしょうか？きっと、楽しい一時を過ごせると思います！！



創作料理

株式会社オー・シー・エル 阿部 寛

毎度お世話になっております。(株)東芝の生駒様から引き継いだOCL阿部です。

今、私がはまっているのは「オリジナル料理」です。単身赴任生活12年、必要に迫られて始めた料理でしたが、旅行先で集めた唐津、萩、織部などの焼き物を眺める内に、これらに似合う料理を、と思うようになりました。

ちょっとした工夫で味も見た目も変わります。青森は、食材の宝庫でもあります。旬の食材を活用して自家製唐辛子醤油や行者胡椒などの調味料も作っています。

今では、会社の仲間にも試作品を振る舞い、コミュニケーション作りに大いに役立っています。食は、人の心を豊かにします。夏には、手製のサツマイモ羊羹を持ち帰り、家族を驚かせました。

皆さん、大いに厨房に立ちましょう。調理の後片付けも行うと、更にポイント高いですよ！

次は 株式会社アトックスの青柳義則さんをお願いします。

【青森産南瓜（ブッチーニ）の肉詰め】 【青森産地鶏手羽の中華料理（貴妃鶏）】



企業の壁を乗り越えた人と人とのつながり「輪」を紹介するページです。次はあなたかも...

お城めぐり

株式会社青森クリエイト 正村 祐樹

皆様、毎日の業務お疲れ様です。株式会社ジェイテックの樋口様よりバトンを受け継ぎました株式会社青森クリエイトの正村と申します。

今回は私が最近趣味にしているものを紹介させて頂きたいと思います。

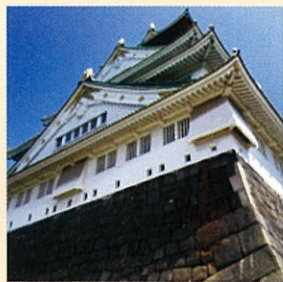
ここ最近県外へ行く機会があり、行った先々のお城を巡る事にハマっております。

今まで全く興味が無かったのですが、実際にお城を目の前ですると、何とも言えない存在感に圧倒され、すぐに魅了されました。中でも一番印象に残っているのは、今年大河でも舞台になっている大阪城です。日本100名城にも選ばれ大阪城の魅力といえば、なんといっても美しい石垣です。巨大な石を用いた高さ30mにもなる石垣は日本最大で近くで見ると圧巻です。実際にその場所に立つ事で歴史の中の人々の思いや、志をとげた人もいれば奮闘むなしく散っていった武将達の息吹を体感できるのも魅力です。

また、お城を一周するだけでも結構な距離ですので、いい運動にもなり一石二鳥です。

お城巡りは日本中に山城や城跡があるので誰でも気軽に行けるので、興味のある方は是非一度行ってみてはいかがでしょうか。

次は日本原燃株式会社電気保全課の松谷光二さんを紹介いたします。



大曲花火大会

株式会社ジェイテック 竹内 通宏

皆様、日々の業務お疲れ様です。

青森日揮ブランテック(株)大山名人よりバトンを頂きましたジェイテック竹内です。季節は冬ですが、今年の夏に行った第90回全国花火競技大会「大曲の花火」について紹介したいと思います。今年は第90回の記念大会ということで友人家族とキャンプしながら見に行ってきました。準備、移動で大変苦労したものの、花火は最高に綺麗で県内で見るとは一味も二味も違います。

是非みなさんも全国の花火師が目標としている最高水準の花火大会「大曲の花火」を見に行ってくださいか？行くならキャンプがお勧めです!!友人・家族との素敵な思い出になるはずです。

さて次は、オールブラックスのナンバー8を目指し「ハカ」が大好きな三興コントロール(株)上田佳輔さんに張り切ってお願いします。



Jリーグ観戦

富士電機株式会社 福山 史記

放射線施設課の榊主任からバトンを受け継ぎました。

ここ数年、家族とともに通っているのが、フクダ電子アリーナである。サッカー経験もなくTV観戦することもなかった我が家だが、3年前に観戦する機会を持ち千葉住民として最寄りのスタジアムに足を運んだところ、その独特な雰囲気を体感し、一気に興味を持つ対象となった。スタジアムに入ると、ジェフ千葉に当社が協賛していることもあり、大勢のサポーターが着用するユニフォームや電光掲示板等に当社名をたびたび目にする事になり、「パパの会社すごいね」と子供たちから言われるほど不思議な空間でもある。

今年の観戦の思い出としては、メディアでも取り上げられた5月の対熊本戦。

地震からの復帰戦で熱い戦いながら、終始温かいエール交換に包まれる感動的な場に身を置けたことは貴重だった。専らJ2リーグにまつわる知識ばかり増える一方だが、そろそろ上位カテゴリーでの奮戦に期待が募る。次は、日本原燃東京支社の米谷奈央さんをお願いします。





箱根駅伝と家族集合写真

元旦、玄関前に家族全員が集合し記念撮影。
二日三日は国道1号線で箱根駅伝第4区/7区の応援をします。50年以上続く我が家の習慣で、家族が増えたり、減ったりと我が家の歴史であり宝物です。



ウインターキャンプ

冬のキャンプで焚火も「おつ」なものです。(但し安全対策は確実に!) 子供達とかまくらや雪像を作って遊ぶのが我が家の恒例行事です。



ヤバイ((+_+))

暴飲、暴食で脇肉・腹肉がヤバイ
お年玉、初売りで財布がヤバイ
バラエティ特番の見過ぎで脳ミソがヤバイ
正月は何かとヤバイことだらけ。



箱根駅伝

やはり箱根駅伝でしょう。選手やチーム秘話に涙する今日この頃。。。



初詣

毎年恒例で、八戸の櫛引八幡宮に初詣に行きます。そこで、今年1年の安全とご多幸を祈願いたします。帰りに、露店でいろいろ食べるのも楽しみです。



温泉

小さい頃、家族で通った地元の遠刈田温泉は元旦が無料開放日。初詣のあと、温泉に直行するのが私と家族のお正月の思い出です。



「正月といえば…」 さいくる de Talk 株式会社ジェイテック



初詣

毎年家族の健康を祈願しに参拝しています。以前は青森市の善知鳥神社で参拝していましたが、最近は八戸市の櫛引八幡宮で参拝しています。



神様!?

年末のX'masに続いて大晦日は除夜の鐘。年が明ければ初詣、初日の出、初夢。門には門松、玄関には注連飾り、部屋には鏡餅。日本人は何て信仰心が厚いのか。だから神様、今年こそは…



年賀状!!

毎年ちょっと面倒だなあと思いながら出すけど、元旦の朝に届くと、やっぱり嬉しいです。1年に1回なので^^



初日の出

八戸市にある葦毛崎展望台は海沿いの展望台で海岸線が一望でき、素晴らしい初日の出が見られます。



宝くじ

私の恒例行事となっている年末ジャンボ!! 毎年三万円が三千元になって返ってきます…今年こそ大金をゲットしてみんなでパリピになります!!!



大掃除あと贅沢料理を着に大酒飲み

我が家では、大晦日に1年の大掃除を行い、地元+美家ならではの美味しい料理を食べ、大酒を飲んで、家族と元旦の初売りに出掛けるのが恒例です。



初詣の甘酒

冬の寒さに冷え込んだ体を温めてくれる甘酒はほっとする優しい味わいです。風邪予防に飲む点滴いかがですか?笑



再処理企業協議会 ホームページのご案内

再処理企業協議会では、ホームページを公開しております。当ホームページでは、設立趣意書、かわら版や会報等を紹介しております。また、会員限定のページもあり、入所時教育の申込やお知らせなど多くの情報を確認できます。当協議会では、ホームページの改善やコンテンツの充実に努めてまいりますので、是非当ホームページを奮ってご活用ください。

また、再処理企業協議会では、協力会社の皆様のご意見、ご要望を受付しております。以下にて、ご連絡ください。なお、相談者のプライバシーにつきましては厳重に保護されますのでご安心ください。

●ホームページアドレス

<https://www.saisyori-kigyoukyogikai.jp/>

●電話・FAX

0175-71-2487 平日 10時～16時

0175-71-2488



行事のお知らせ

1月13日 ……………もちつき大会
2月上旬……………かわら版発行
2月……………第2回再処理施設見学会



事務局長あいさつ

あけましておめでとうございます。いつも再処理企業協議会活動へのご支援・ご協力ありがとうございます。

昨年は、新規制基準対応や電力自由化による認可法人設立など我々を取り巻く環境が大きく変化した一年でした。

新年は新規制基準対応工事が本格化し、多忙な一年となりそうです。俗に「人は心にゆとりがない時ほどいろいろな災いがふりかかる」と言われています。多忙なスケジュールで無理をすると疲れを伴い、どうしても体調を崩してしまいます。もしかすると思わぬところに大きな落とし穴が潜んでいるかもしれません。無理をし過ぎない、頑張り過ぎない、いつも以上に自己管理が大切だと思います。

再処理企業協議会では、恒例の餅つき大会から、ダーツ、ゴルフ、ボウリング大会の開催を予定しておりますので、是非ご参加いただいて心と体をリフレッシュしてください。

また、再処理施設操業に向けて、現場力量向上のための勉強会・訓練・研修も開催しておりますので、積極的なご参加をお待ちしています。

最後に、会員およびご家族の皆様のご健康とご多幸をお祈り致します。今年も昨年同様よろしくお祈り致します。

二〇一七年一月一日



再処理企業協議会
事務局長 北上 孝寿

編集担当者より



太平電業(株) 藤田 力

太平電業の藤田です。昨年は、寝込む程の病気もなく健康で過ごせた年でありました。(老眼の進行と指の骨折はありましたが…)今年も健康第一で新たな目標に向け頑張っていきます。



(株)永木精機 山下 裕明

永木精機の山下裕明です。新年あけましておめでとうございます。皆様のおかげで無事に新しい年を迎えることができました。

今年も気を緩めることなく、常に攻めの姿勢を忘れず積極的に業務に取り組んで参りたいと思います。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。



(株)関電工 木村 俊成

広報部員 関電工の木村です。三年ぶりの雪道運転通勤で緊張感が抜けません。書類の確認は拡大鏡が欠かせません。白髪を染めてがんばります。